

第6回 キャンパスベンチャーグランプリ 北海道

北海道の学生による新事業の提案コンテスト

北海道の大学生らが考えた事業プランを顕彰する「第6回キャンパスベンチャーグランプリ北海道」(CVG北海道)の表彰式が14日、11時から札幌市中央区の札幌ガーデンパレスで開かれる。今回は道内13の大学、専門学校から、前回の約1・7倍にあたる60件の応募があった。

審査委員会による厳正な書類、ヒアリング、最終審査の結果、最優秀賞に北海道大学大学院・

横田泰斗さん、岩崎航さん

の「ビジネスプラン」既

存の団体を活用し

たWebシステ

事業化・
起業家に
挑戦！

キャベツ・プラン

ムの製作・レ
ンタル事業」を
選定した。

優秀賞には、酪農学園大

学・酒井彦卓さん、佐々木彩さん

の「アロニを使った新製品の開発と消費拡大に向けて」、北海道大学・北川雅嗣さんの「国際交流のための外国人支援ツール『Friends』」の2件を選定。ほかに奨励賞5件、努力賞9件を選定し、合計17件が入賞プランとなった。

入賞者にはCVG北海道実行委員会(近藤龍夫委員長)北海道経済連合会会長から賞状と賞金が授与される。

全道から
応募60件

14日札幌で
表彰式

※キャベツ・プランとは…キャベツは新鮮さをイメージしています。欧米では赤ちゃんはキャベツから生まれるという言い伝えがあり、孵化(インキュベーション)〜ベンチャーの思いを込めています。

もっと、
気持ちのいいでんきへ。

目には見えないけれど

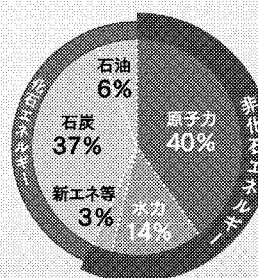
それは、音楽を奏で、料理をすることができる。

お湯をわかし、部屋を温めることができる。

でんきは今日もあなたのそばへ、北海道のすみずみへ。

人にも、地球にも、もっと気持ちのいいでんきであるために。

泊発電所3号機の運転開始で、
CO₂の排出が少ない電気にまた一歩近づきました。



泊発電所3号機が運転を開始したことにより、水力・太陽光などと合わせて、お届けする電気の半分以上を発電時にCO₂を排出しない電源で賄えるようになりました。ほくでんは、これからも、環境に配慮しながら、安定した電気をお届けします。

電源別発電電力量の構成比
「2010年度供給計画」における2014年度の見通し

泊発電所3号機のプルサーマル計画は
国の安全審査を受け、昨年11月に許可をいただきました。

限りある資源を有効に
利用していくために。
ほくでんは、使い終わっ
たウラン燃料をリサイ
クルする「プルサーマル
計画」を進めています。

